

事業計画

	<table> <tr> <td>事業名</td><td>みんなで育て みんなでつくる 沿道の食べられる景観 事業</td></tr> <tr> <td>団体名</td><td>エディブルウェイプロジェクトチーム</td></tr> <tr> <td>事業担当課</td><td>みどりと花の課</td></tr> </table>	事業名	みんなで育て みんなでつくる 沿道の食べられる景観 事業	団体名	エディブルウェイプロジェクトチーム	事業担当課	みどりと花の課
事業名	みんなで育て みんなでつくる 沿道の食べられる景観 事業						
団体名	エディブルウェイプロジェクトチーム						
事業担当課	みどりと花の課						
事業概要 沿道の住宅や店舗前、地域の拠点、街中のプランターなどで、野菜やハーブなどを育てる「食べられる景観」づくりや、植物クラフト活動を実施する。生活に身近な場所での園芸活動を通じ、住民の交流を促進し、地域コミュニティ向上、地域環境を学び合う場を創出する。							
松戸市の課題	社会課題：核家族化、単身世帯の増加などから、近所づきあいなど地域での交流の機会が減少しています。松戸市でも、高齢者の単身世帯が増加しており、地域でのゆるやかなつながりづくりが課題と考えています。 みどりの課題：令和4年に新たな「松戸しみどりの基本計画」が策定されました。「みどりと暮らす豊かさを実感できるまちづくり」をテーマに、基本方針に「みどりの市民力」を豊かにする、「みどりのあるライフスタイルを楽しむ」が掲げられています。松戸市では里山ボランティアなどみどりの市民活動は盛んですが、一般市民の方の生活の中で、みどりを感じられる場面は少ないことが課題と考えられます。 そこで、本事業では、沿道での景観づくりやクラフトなど園芸活動を通じ、健康・福祉、景観、教育・子育て、食料生産など、みどりの機能を、生活に身近な場所で、住民の方と一緒に高め、推進することができると考えます。また、みどりの活動を通じて、地域でのゆるやかなつながりづくりにも貢献できると考えています。						
事業の目的	① 野菜やハーブを用いたユニークな景観づくりを行い、みどりの市民力向上や、みどりのあるライフスタイルの推進に寄与すること。 ② 園芸活動を通じた地域でのコミュニケーション機会の創出から、日常的に挨拶できる近所づきあいを増やすこと。 ③ 園芸活動や植物を使ったものづくりを通じ、地域環境を学び合う機会や、多世代での交流の機会をつくること。						
事業内容	1. 事業内容 (1) 食べられる景観づくり（通年、植え替え：4-5月・9-10月） - 野菜やハーブなど食べられる植物と、花苗の寄せ植えにより、食べられる景観づくりをする。園芸活動を通じた、多世代のコミュニケーションを誘発し、地域の顔の見えるつながりづくりに貢献する。 - 植え替え時期に、外部講師を招き、土壌の微生物環境を調整することで、土を入れ替えずに栽培をするリレー栽培講座を開き、見た目も美しく、持続可能な野菜の育て方を学ぶ。（年2回） - メンバー有志で育苗活動を実施する。（年2回） - 植え替え時期には、タネ・苗の配布交換会を開催する。（年2回） - プランターに設置しているサインの作成・修理会を開催する。（年1回）						

① 沿道での食べられる景観づくり

- ・ JR 松戸駅から千葉大学松戸キャンパスまでの松戸三丁目東自治会を中心とした地域で、沿道の個人宅、事業所前の私有地側の空間にお揃いのプランターを設置し、野菜やハーブを育てる。
- ・ 同地域の地域拠点施設（地域包括支援ケアセンター、小規模保育所などを想定）でも、食べられる景観を展開し、みどりのつながりを広げる。

② まちのプランターでの食べられる景観づくり

- ・ みどりと花の課が管理するプランターで、食べられる景観を展開し、地域のみどりのつながりを広げる。
- ・ 普段の水やりなどの管理は、地域包括支援センター、自治会子ども会、エディブルウェイ参加者などで連携して行う。
- ・ 月 1 回まちのプランターお世話会を開催する。植物の世話と合わせて、収穫期の植物があれば、ミニワークショップとして、ハーブクラフト体験、試食会、関連絵本の読み聞かせなどを行う。育てている野菜やハーブの使い方、楽しみ方を学び、栽培活動への意欲向上と交流を進める。

（２）子ども向けクラフトワークショップの開催（年２回）

- ・ 外部講師を招き、市内の子ども向けに植物クラフトワークショップを開催し、ものづくりを通じた身近な地域環境の学びと交流の場を設ける。

（３）情報発信：みどりの活動の普及・啓発のために、SNS、ホームページでの情報発信をする。

2. スケジュール

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
（１）食べられる景観づくり		
4-5 月・ 9-10 月	① 栽培講座・タネ・苗配布交換会、植え替え活動	A. 実施体制：外部講師、会員有志、B. 対象：EW 参加者、 C. 場所：自治会館又は市民会館（参加費 500 円、定員 20 名、2 回）
月 1 回 （毎月）	② まちのプランターお世話会	A. 実施体制：会員有志、 B. 対象：まちのプランターメンバー、EW 参加者、 C. 場所：まちのプランター、自治会館 ・ 毎月管理活動：参加者 15 名程度 ・ ミニ WS：参加費 300 円・定員 15 名・4 回開催予定 ・ 収穫試食会：参加費 300 円・定員 15 名・2 回開催予定
12・3 月	（２）子ども向けクラフトワークショップ	A. 会員有志、外部講師、B. 地域の小学生、 C. 自治会館または市民会館、有料開催（参加費 1000 円、定員 20 名、2 回）

事業の目標	・ 食べられる景観づくりについては、沿道の新規参加者（5 世帯）、地域の拠点施設への展開（1カ所以上）を目指す。 ・ まちのプランター活動では、月1回の活動を実施し、多世代にわたる15名程度の参加者を目指す。まちのプランターの手入れと、植物を用いたイベントの開催を行う。学びや交流の場づくりを通して、活動を継続するための知識を共有する。
協働の必要性 (団体)	松戸市のみどりを担う課との協働事業として行うことで、地域の拠点施設などでも展開が実現できれば、地域のみどりや、人のつながりはさらに強化できると考えられます。 令和6年度からはじまった協働事業のまちのプランター活動では、これまでの参加者に加えて、新たに地域包括支援センターや子ども会、地域住民の参加がありました。地域活動として、多世代に参加いただけることになりました。これまでは、私有地の前にプランターを置いて、通りから眺める景観づくりの活動でしたが、街中のプランターで食べられる景観づくりができることになり、より地域の活動として多くの方にご参加いただき、楽しんでいただいております。子どもにとっては、園芸体験から、環境教育や、地域環境を学ぶ場として、高齢の方にとっては、外出や、体を動かすきっかけになり、どの世代にとっても、地域のさまざまな世代と交流する機会になっています。つながりが希薄化した地域社会で、いざというときに助け合えるゆるいつながりづくりに貢献できると期待しています。 当団体の活動は、松戸市のみどりの基本計画に掲げられた「みどりと暮らす豊かさを実感できるまちづくり」の手法の一つとして、松戸市のみどりの市民力の向上に貢献できるのではないかと考えております。
協働の必要性 (市)	松戸市みどりの基本計画のテーマである「みどりと暮らす豊かさを実感できるまちづくり」の推進のため、「みどり・人・暮らし」をつなげる実践の場を広げていく必要があります。エディブルウェイプロジェクトチームは、食べられる景観づくりやワークショップを通じた地域のコミュニティづくりに十分な実績があり、新たな地域への活動の拡大を期待しています。
事業実施の役割 分担	① 団体：プロジェクト地域での事業企画・運営・実施 ② 担当課：まちのプランター活動場所の提供、一部花苗の提供、地域との連携サポート
今後の展望	令和6年度 現・活動地域における地域拠点施設への活動の展開・拡充 令和7年度 現・活動地域における地域拠点施設への活動の展開・拡充 まちのプランターでの食べられる景観づくりの安定した管理・運営活動の仕組みづくり 令和8年度 現・活動地域における地域拠点施設への活動の展開・拡充 まちのプランターでの食べられる景観づくりの安定した管理・運営活動の仕組み、プロジェクトマニュアル検討 ・ 協働事業終了後は、松戸市内各地域で食べられる景観づくり（エディブルウェイプロジェクト）の普及活動と立ち上げ支援。 ・ 市内イベント等で、苗やクラフトグッズの販売、ワークショップ開催などの収益により、活動資金を調達し、活動継続できることを目指します。

事業の予算計画

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	労力換算額（Ａ）	¥ 919,296	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	イベント（WS・講座）参加費	¥ 87,000	(1)リレー栽培講座500円*20人*2回、ミニWS 300円*15人*4回、収穫試食会 300円*15人*2回 (2)クラフトWS 1000円*20人*2回
	自己資金の合計額（Ｂ）	¥ 87,000	
市	協働事業負担金（Ｃ）	¥ 377,300	
合計額（Ｄ）＝（Ｂ＋Ｃ）		¥ 464,300	

【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 120,000	講座外部講師謝礼金（30,000円*4 回）
	消耗品費	¥ 238,500	[食べられる景観づくり] ・土再生材 10kg(6000円*1個) ・ミミズ堆肥 5kg（1000円*6個） ・元肥（600円*5個） ・培養土40L（1400円*10個） ・野菜苗（育苗が困難な種類・沿道プランター25個*2期、まちのプランター25個*2期）（300円*100個） ・果樹苗(5000円*2個) ・まちのプランター資材一式（支柱、ネームタグ、紐など）5000円 ・タネ(300円*20個) ・育苗用資材一式（育苗ケース・ポット・用土など）(5000円*2 回) ・サイン修理・材料一式 3000円 ・ラミネートシート 3500円 ・布製プランター（500円*20個） ・木製プランター（3000円*10個） ・プランターロゴ印刷シルクスクリーン版(3000円*2個) ・シルクスクリーンインク(3000円*2個) ・試食会材料（5000円*2回） [クラフト] ・クラフト材料費（フェルト、蜜蝋、麻紐等）(10000円*2回) ・ハーブクラフトミニWS材料費（花材、瓶等）(5000円*4回) [活動全般] ・参考書籍（クラフト・園芸福祉活動等）(2000円*5冊) ・まちづくり絵本(2000円*5冊) ・文具類一式（付箋、封筒、コピー用紙等）5000円 ・作業用エプロン（1000円*10枚） ・園芸道具類一式（養生シート、移植ゴテなど）5000円
	食糧費	¥ 16,000	・参加者お茶代（まちのプランター活動12回+植え替え講座、クラフト4回*1000円(1回20人分)）
	印刷製本費	¥ 13,800	・チラシ印刷費（A4両面カラー15円*100部）*6回 ・資料コピー代（10円*30枚*16）
	使用料及び賃借料	¥ 25,600	・自治会館（講座・育苗会 計16回*1600円）
	保険料	¥ 2,000	キッズクラフトワークショップ保険料(1000円*2 回)
	通信運搬費	¥ 4,400	切手代（メールなし110円*20世帯*2回）
	対象経費の合計（Ｅ）	¥ 420,300	
（その他経費）	食糧費	¥ 12,000	お弁当代（植え替え/WS 600円*5名*4回）
	交通費	¥ 26,000	資材運搬用交通費（レンタカー）5000円*2回 スタッフ交通費(往復1000円*12回) 講師交通費(往復1000円*4回)
	通信費	¥ 6,000	・ホームページサーバーレンタル年間（4000円） ・ホームページドメイン年間（2000円）
	その他経費の合計額（Ｆ）	¥ 44,000	
合計額（Ｇ）＝（Ｅ＋Ｆ）		¥ 464,300	

【チェック項目】

- 協働事業負担金（Ｃ）が、対象となる経費（Ｅ）欄の90％以内であること。
- 協働事業負担金（Ｃ）が、自己資金（Ｂ）欄に労力換算額（Ａ）欄を加えた額を超えないこと。
- 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労 力 換 算 額	活動計画		人数×時間回数×1026円
	WS・講座打ち合わせ（4回）	36,936 円	3 人 × 3 h × 4 回 × 1026 円
	WS・講座準備（4回）	73,872 円	3 人 × 6 h × 4 回 × 1026 円
	WS・講座開催（会場設営・撤収含む）（4回）	82,080 円	5 人 × 4 h × 4 回 × 1026 円
	まちのプランター活動・ミニWS打ち合わせ（12回）	73,872 円	3 人 × 2 h × 12 回 × 1026 円
	まちのプランター活動・ミニWS準備（12回）	221,616 円	3 人 × 6 h × 12 回 × 1026 円
	まちのプランター活動・ミニWS開催（会場設営・撤収含む）（12回）	307,800 円	5 人 × 5 h × 12 回 × 1026 円
	育苗会準備（2回）	18,468 円	3 人 × 3 h × 2 回 × 1026 円
	育苗会開催（2回）	49,248 円	8 人 × 3 h × 2 回 × 1026 円
	サイン作成・修理会（1回）	24,624 円	8 人 × 3 h × 1 回 × 1026 円
	タネ・苗交換会準備（2回）	10,260 円	5 人 × 1 h × 2 回 × 1026 円
	タネ・苗交換会開催（2回）	20,520 円	5 人 × 2 h × 2 回 × 1026 円
			人 × h × 回 × 1026 円
			人 × h × 回 × 1026 円
			人 × h × 回 × 1026 円
			人 × h × 回 × 1026 円
			人 × h × 回 × 1026 円
			人 × h × 回 × 1026 円
			人 × h × 回 × 1026 円
			人 × h × 回 × 1026 円
合 計 （A）		919,296 円	